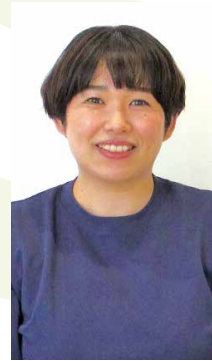


きらり! 情報局

● 女性活躍を推進する ●



越智さん



池上さん

目黒区、港区を中心に保育施設を運営する株式会社アソシエ・インターナショナル。

認可保育園・学童保育クラブ・子育てひろば等の子育て支援事業に取り組みかたわら、従業員の健康や職場環境の改善、女性活躍推進を意欲的に、厚生労働省の「えるぼし認定」(注)を取得されています。同社の目黒区内事業所にお勤めの保育士の池上さんと越智さんに職場環境とワーク・ライフ・バランスについてお話を伺いました。(文中お名前:敬称略)

(注)えるぼし認定:厚生労働省と経済産業省が認定する健康経営優良法人「ホワイトマーク」企業の中で、「女性活躍推進法」に基づき各種制度を推進する企業認定制度

子育てに対する会社の支援制度や
育児休暇取得状況は?

池上:産後休暇を1週間と育児休暇を3か月取得しました。休暇後は元の職場に復帰できました。子どもを持つ男性職員全員が育児休暇を取得しています。お互いに助け合って仕事をカバーしようという企業風土があり、と

ても働きやすく、助かっています。

越智:産休・育休を経て、時短勤務制度を活用しています。以前は、系列の認可保育園で園長をしていましたが、出産後、自分のキャリアを考える中で、今は自分の子どもとしっかり向き合いたいと思いき動を希望しました。自らの経験を活かして親子のサポートをし

ていきたいという思いがあり、アソシエ子育て支援施設に勤務しています。

今後のキャリア形成で希望する
支援や制度は?

越智:病児保育施設が充実されると、より働きやすくなると思います。目黒区には病後児保育施設がありますが、病児保育施設はありません。子どもが発熱しても預け先が見つからなければ働くことができません。

池上:一般的にお父様方は、仕事を休んで子育てをすることへのハードルが高いようです。コロナ後にリモートワークが増えたとはいえ、依然、仕事の融通が付けづらいという状況があると聞きます。こうした施設が充実されると、共働き家庭はとも助かると思っています。

越智:今後保育士としてのキャリアを考えると、国や自治体には給与面の待遇改善をもらいたいです。大切なお子様の命を預かる責任のある仕事であり、AI(人工知能)には取って代われません。キャリアを積んだ職員が経済的な理由で保育士を辞めてしまうのはとても残念ですし、保育現場にとっては痛手だと思います。家族計画を考

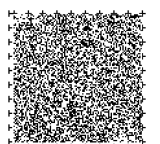
える上でも、ぜひ改善してほしいです。

取材を終えて

保育士は専門性の高いスキルが求められる現代、保育士のキャリア・アップの仕組みや制度作りが必要であると感じました。質の高い保育は、その後の人生に良い影響を与えると聞きます。保育士が専門性を向上させながら、仕事にプライドを持って長く働くための魅力のある職場づくりへの、国・地方自治体・企業の取組みに期待します。

(取材担当 今井・齊藤)

きらり情報局は、目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会のメンバーが取材・執筆しています。



▲アソシエとりつだいベビーラボ